

令和7年度施策評価調書

●まちがにぎわう わいわいプロジェクト

基本方針	未来を見据えた拠点づくりや産業振興、基盤整備を通して、にぎわいと活力に溢れ、わいわい人が行き交うまちを目指します。
------	---

【1. にぎわい創出プロジェクト】

1 対象施策および施策目標（P126）

施策名	1. 茨城空港を核としたにぎわいづくり（4501・4803）
施策目標	茨城空港をにぎわいの核として、まちの顔となる拠点づくり及び周遊環境の整備を推進します。
所管部課名	市長公室（基地・空港対策課）/産業経済部（商工観光課）/都市建設部（特定プロジェクト推進課）

2 総合計画施策体系および成果指標（P97・P102・P103）

総合計画 施策体系	基本目標	04仕事と暮らしを創造する環境づくり
	基本施策	05茨城空港の利活用/08観光の振興

指 標 名	実績値(R3)	実績値(R6)	将来値(R9)
茨城空港ターミナルビル来場者数	673,400人	1,406,200人	1,550,800人
観光入込客数	1,064,100人	1,811,000人	1,383,300人
観光資源や特産物等の情報発信回数	120,054回	111,535回	192,000回
外国人留学生等による海外向け 情報発信回数	0回	0回	30回

3 個別施策（P97・P103）

4501 空港の利用促進・有効活用	小美玉市茨城空港利用促進協議会の活動を支援し、地元としての空港の利用促進に関わる新たな方策の提言や機運醸成に努めます。 地域固有の地場産業・観光資源・歴史・風土などの地域資源を有効に活用するため、茨城空港ターミナルビルにおいて、定期的なイベントなどを実施しながら本市の特産品を周知するとともに、にぎわいづくりを推進します。
4803 観光情報発信の充実	交流人口の増加のため、空の玄関口である茨城空港を核とし、周辺自治体とも広域連携を図りながら、県内観光地の情報を積極的にPRします。

4 施策達成のための主要な事務事業(令和6年度)

【指標値】

事務事業名	指標名	単位		R6	R7	R8	R9
小美玉市茨城空港利用促進協議会運営事業	利用促進のためのイベント開催数	回	計画	5	5	5	5
			実績	9	-	-	-
	茨城空港応援大使のPR活動数	回	計画	20	20	20	20
			実施	27	-	-	-
茨城空港周辺地域資源活用推進連絡会運営事業	イベントへの出展回数	回	計画	4	4	4	4
			実績	4	-	-	-
	就航先観光キャンペーン等におけるPR回数	回	計画	9	9	9	9
			実績	9	-	-	-
観光PR推進委託事業	観光関連イベントの参加数	回	計画	30	30	30	30
			実績	33	-	-	-
まちづくり構想推進事業 (百里飛行場前新交流拠点整備)	R7:実施計画策定 R8:測量、用地取得 R9:実施設計	式	計画	-	1	1	1
			実績	-	-	-	-

【評価】

(4点満点の数値)

事務事業名	妥当性		有効性		効率性
	①	②	③	④	⑤
	事業の必要性	市が実施する妥当性	計画達成への貢献度	活動量に見合う成果	コストの低減度
小美玉市茨城空港利用促進協議会運営事業	4	4	4	4	1
茨城空港周辺地域資源活用推進連絡会運営事業	4	4	4	4	1
観光PR推進委託事業	4	4	4	4	2
まちづくり構想推進事業(百里飛行場前新交流拠点整備)	4	4	4	4	1

参考

【妥当性】① 4:高い、3:やや高い、2:やや低い、1:低い ② 4:妥当、3:概ね妥当、2:やや妥当、1:妥当でない

【有効性】③ 4:高い、3:やや高い、2:やや低い、1:低い ④ 4:ある、3:ほぼある、2:ややある、1:ない

【効率性】⑤ 4:大きくできる、3:ややできる、2:あまりできない、1:全くできない

5 施策の課題認識と解決の方策

施策の課題	解決の方策
【市長公室】 イベント開催数及び茨城空港応援大使の活動ともに計画を上回る実績を上げた結果、茨城空港ビル来場者数の増加につながり空港の利用促進に大きく寄与した。	引き続き、小美玉市茨城空港利用促進協議会の活動を支援し、さらなる空港の利用促進と賑わいづくりに努める。
【産業経済部】 茨城空港の来場者数が年々伸びており、来場者を市内周遊へ促したい。	茨城空港周辺地域資源活用推進連絡会や小美玉市茨城空港利用促進協議会でのイベントやPRにおいて、茨城空港を拠点とした観光周遊のモデルプランの提示などを行い、茨城空港来場者の市内周遊を促進する。
【都市建設部】 「百里飛行場前新交流施設」の維持管理費削減を意識し、規模縮小を検討するとともに、民間事業者が施設管理に参入しやすい施設づくりを目指し、実施計画の段階から検討しなければならない。	プロポーザル方式により民間事業者の提案を採用し市民とともに計画策定を行い、さらには設計、施工、管理を包括的に行う「DBO方式」などの導入について検討を進める。

6 施策所管部長による評価

評価	評価の理由
A：取組を維持し、施策成果を維持 B：取組を強化し、施策成果を向上 C：取組を見直し、施策成果を向上 D：施策を見直す	【市長公室】 計画を上回る、空港ターミナルビル来場者数、イベントの開催数及び空港応援大使の活動数の実績を上げたため。
	【産業経済部】 茨城空港におけるイベントや就航先でのPR活動など、市の観光情報の発信を継続して取り組んでいる。また、海外での旅行博覧会におけるパンフの配布などの新たな取組みを実施している。ただし、市内周遊の促進については取組みを強化する必要がある。
	【都市建設部】 新まちづくり構想の実現に向け、防衛省「まちづくり支援事業」を活用し、令和12年度の供用開始を目指す。

7 専門委員会の意見及び評価

評価	意見の内容
B	・空港の無料駐車場は好評で、そ・ら・らを含め、県外からの来客が多い。 ・数値が上がっているか、実情が把握できない。 ・空港内のイベントについて広く周知が図られていないと思われる。

8 総合計画審議会の意見

評価	意見の内容
A：取組を維持し、施策成果を維持すべき	
B：取組を強化し、施策成果を向上すべき	
C：取組を見直し、施策成果を向上すべき	
D：施策を見直すべき	

令和7年度施策評価調書

●まちがにぎわう わいわいプロジェクト

基本方針	未来を見据えた拠点づくりや産業振興、基盤整備を通して、にぎわいと活力に溢れ、わいわい人が行き交うまちを目指します。
------	---

【1. にぎわい創出プロジェクト】

1 対象施策および施策目標 (P126)

施策名	2. 多様な地域資源を活用した観光地域づくり (4102・4802)
施策目標	- 霞ヶ浦や体験型施設など多様な観光資源を活用した観光を促進します。 - 大井戸湖岸公園や茨城空港公園などにおいて交流の場づくりを推進します。
所管部課名	産業経済部（商工観光課/農政課）

2 総合計画施策体系および成果指標 (P90・P91・P94・P102)

総合計画 施策体系	基本目標	04仕事と暮らしを創造する環境づくり
	基本施策	01計画的土地利用の推進/03公園・緑地・水辺の整備/08観光の振興

指 標 名	実績値(R3)	実績値(R6)	将来値(R9)
茨城空港公園のイベント来場者数	3,800人	27,000人	36,300人
観光入込客数	1,064,100人	1,811,000人	1,383,300人

3 個別施策 (P90・P91・P102)

4102 地域特性を生かした土地利用の推進	霞ヶ浦湖岸や池沼は本市の原風景の一つであり、観光・交流拠点であるとともに、市民の憩いの場でもあることから、自然景観と調和した景観形成を前提に、水辺空間を活用した土地利用を図ります。
4802 観光資源の活用	地域の様々な観光資源の魅力を生かしていくため、各専門家のノウハウの共有を図り、地域が一体となって魅力的な観光資源の活用方法の充実に努めます。
	農業関係者及び農業各機関などと連携し、地域の観光資源や特色を生かした体験型観光及びアグリツーリズムの受け入れ体制を整備し、市ホームページやSNSなどによる情報発信に努めます。
	本市の魅力を発信するため、茨城空港周辺を拠点として、地域の特産品の販売やイベントによる集客に努めます。

4 施策達成のための主要な事務事業(令和6年度)

【指標値】

事務事業名	指標名	単位		R6	R7	R8	R9
新イベント開催補助事業	おみたま花火大会及びおみたま大空マルシェの来場者数	人	計画	6,600	38,000	8,500	38,000
			実績	8,500	-	-	-
茨城空港周辺地域資源活用推進連絡会運営事業	イベントへの参加回数	回	計画	5	5	5	5
			実績	2	-	-	-
観光アドバイザー業務委託事業	観光事業に係る課内会議の開催	回	計画	10	12	12	-
			実績	10	-	-	-
シビックガーデン維持管理事業	貸農園数	区画	計画	225	225	225	225
			実績	190	-	-	-

【評 価】

(4点満点の数値)

事務事業名 評価項目及び説明	妥当性		有効性		効率性
	①	②	③	④	⑤
	事業の必要性	市が実施する妥当性	計画達成への貢献度	活動量に見合う成果	コストの低減度
新イベント開催補助事業	4	4	4	4	2
茨城空港周辺地域資源活用推進連絡会運営事業	4	4	4	3	3
観光アドバイザー業務委託事業	4	4	4	4	2
シビックガーデン維持管理事業	3	4	3	4	2

参考

【妥当性】① 4:高い、3:やや高い、2:やや低い、1:低い ② 4:妥当、3:概ね妥当、2:やや妥当、1:妥当でない
【有効性】③ 4:高い、3:やや高い、2:やや低い、1:低い ④ 4:ある、3:ほぼある、2:ややある、1:ない
【効率性】⑤ 4:大きくできる、3:ややできる、2:あまりできない、1:全くできない

5 施策の課題認識と解決の方策

施策の課題	解決の方策
観光資源の活用において、市に訪れる観光客の動態の把握および情報発信活動の強化が課題である	観光アドバイザーが作成したアンケートを基に、観光客の動態を把握し、既存の観光事業におけるPDCAサイクルの強化する。庁内で初めてSNS活用した広告を行うなど、さらなる情報発信活動の強化に取り組む。
気軽に農業に関わることがメリットであるが、利用者の多くは70歳代以上であり、若年層やファミリー層に向けて情報発信を行う必要がある。	収穫体験できる機会の創出や野菜作り教室の開催を検討するなど、シビック・ガーデンの活性化を推進する。

6 施策所管部長による評価

評 価	評価の理由
A:取組を維持し、施策成果を維持	霞ケ浦を活用したおみたま花火大会、茨城空港エリア全体の賑わいとして実施した大空マルシェなどについては来場者や実施後のアンケートから成功といえる。ただし、観光事業については情報発信も含めた取り組みが必要。 貸農園利用者からは好評を得ているものの、施策に記載のアグリツーリズムの受入れまで至っていない。関係者と連携を図り体制整備を進め、市の魅力を市外に発信できる仕組みを構築したい。
B:取組を強化し、施策成果を向上	
C:取組を見直し、施策成果を向上	
D:施策を見直す	

7 専門委員会の意見及び評価

評 価	意見の内容
B	・池花池の白鳥や古墳といった史跡など、本市には様々な魅力がある。その存在を広く周知することが重要。 ・小美玉市の観光の目玉が分からない、市民のメリットが見えないため、取組も大事だが、成果をお願いしたい。

8 総合計画審議会の意見

評 価	意見の内容
A：取組を維持し、施策成果を維持すべき	
B：取組を強化し、施策成果を向上すべき	
C：取組を見直し、施策成果を向上すべき	
D：施策を見直すべき	

令和7年度施策評価調書

●まちがにぎわう わいわいプロジェクト

基本方針	未来を見据えた拠点づくりや産業振興、基盤整備を通して、にぎわいと活力に溢れ、わいわい人が行き交うまちを目指します。
------	---

【1. にぎわい創出プロジェクト】

1 対象施策および施策目標 (P126)

施策名	3. 人を呼び込むしかけづくり (4102・4302・4802)
施策目標	・ JR羽鳥駅周辺において人が集まる魅力づくりを推進します。 ・ 多様な関係者を幅広く誘引し、観光地域づくりを推進します。 ・ いばらきサイクルツーリズム構想と連携を図り、ナショナルサイクルルートを活用したサイクリストを呼び込むしかけづくりを推進します。
所管部課名	産業経済部（商工観光課）/都市建設部（都市整備課・特定プロジェクト推進課）

2 総合計画施策体系および成果指標 (P90・P91・P94・P102)

総合計画 施策体系	基本目標	04仕事と暮らしを創造する環境づくり
	基本施策	01計画的土地利用の推進/03公園・緑地・水辺の整備/08観光の振興

指 標 名	実績値(R3)	実績値(R6)	将来値(R9)
サイクルステーションの設置数	未設置	着手	1箇所
観光入込客数	1,064,100人	1,811,000人	1,383,300人

3 個別施策 (P90・P91・P94・P102)

4102 地域特性を生かした土地利用の推進	J R羽鳥駅周辺を本市の陸の玄関口として活性化させるため、駅の橋上化に伴い整備された自由通路や駅前広場を活用し、人が集まる魅力づくりに取り組みます。
4302 拠点となる公園の整備・活用	サイクリスト及び市内外の利用者に配慮した整備を推進するため、県が策定した「いばらきサイクルツーリズム構想」と連携を図り、つくば霞ヶ浦りんりんロードの整備及び大井戸湖岸公園などのレジャーレクリエーションの体験の場としての活用を図ります。
4802 観光資源の活用	地域の様々な観光資源の魅力を生かしていくため、各専門家のノウハウの共有を図り、地域が一体となって魅力的な観光資源の活用方法の充実に努めます。 ナショナルサイクルルートを活用したサイクルツーリズムを推進するとともに、「小美玉市まちづくり構想」との整合を図ります。

4 施策達成のための主要な事務事業(令和6年度)

【指標値】

事務事業名	指標名	単位		R6	R7	R8	R9
まちづくり構想推進事業 (羽鳥駅前新交流拠点整備)	R7:基本設計策定 R8:実施計画策定 R9:測量、地質調査	式	計画	-	1	1	1
			実績	-	-	-	-
サイクルステーション設置事業	R6:実施設計 R7:工事 R8:供用開始	式	計画	1	1	-	-
			実績	1	-	-	-
観光PR推進委託事業	サイクルイベントの回数	回数	計画	2	2	2	2
			実績	2	-	-	-
「空の駅 そ・ら・ら」指定管理移行事業	R6:市場調査 R7:指定管理先調査 R8:指定管理移行	式	計画	1	1	1	1
			実績	1	-	-	-

【評価】

(4点満点の数値)

事務事業名 評価項目及び説明	妥当性		有効性		効率性
	①	②	③	④	⑤
	事業の必要性	市が実施する妥当性	計画達成への貢献度	活動量に見合う成果	コストの低減度
まちづくり構想推進事業(羽鳥駅前新交流拠点整備)	4	4	4	4	1
サイクルステーション設置事業	4	4	4	4	3
観光PR推進委託事業	4	4	4	4	2
「空の駅 そ・ら・ら」指定管理移行事業	4	4	4	4	4

参考

【妥当性】① 4:高い、3:やや高い、2:やや低い、1:低い ② 4:妥当、3:概ね妥当、2:やや妥当、1:妥当でない

【有効性】③ 4:高い、3:やや高い、2:やや低い、1:低い ④ 4:ある、3:ほぼある、2:ややある、1:ない

【効率性】⑤ 4:大きくできる、3:ややできる、2:あまりできない、1:全くできない

5 施策の課題認識と解決の方策

施策の課題	解決の方策
【産業経済部】 サイクルステーションの運用開始に伴い、サイクリングスポットとしての認知度の向上と利活用の促進を図る必要がある。	サイクルスポットとしてのPRや指定管理事業者及び観光協会によるサイクルツーリズムを含めたイベントを実施するなど、市内外における認知や利活用に向けて取り組む。
【都市建設部】 「羽鳥駅前新交流拠点施設」の維持管理費削減を意識し、民間事業者が施設管理に参入しやすい施設づくりを目指し、基本設計の段階から検討しなければならない。	プロポーザル方式により民間事業者の提案を採用するとともに、民間事業者のノウハウの活用により設計、施工、管理を包括的に行う「DBO方式」などの導入について検討を進める。

6 施策所管部長による評価

評 価		評価の理由
A：取組を維持し、施策成果を維持	A	【産業経済部】 サイクルステーションや指定管理に伴う市場調査は計画どおり完了している。「空のえき そ・ら・ら」の指定管理移行事業は施策の達成においても重要であり、市場調査の結果を踏まえて、引き続き取り組む必要がある。
B：取組を強化し、施策成果を向上		
C：取組を見直し、施策成果を向上	B	【都市建設部】 新まちづくり構想の実現に向け、国交省「都市構造再編集事業」を活用し、令和13年度の供用開始を目指す。
D：施策を見直す		

7 専門委員会の意見及び評価

評 価	意見の内容
B	・サイクリングに関して口コミやネット等で広がっている。 ・サイクルステーションの設置に向けて進めていることは、評価できる。 ・人を呼び込む上で、宿泊施設があるとよいと思われる。

8 総合計画審議会の意見

評 価	意見の内容
A：取組を維持し、施策成果を維持すべき	
B：取組を強化し、施策成果を向上すべき	
C：取組を見直し、施策成果を向上すべき	
D：施策を見直すべき	

令和7年度施策評価調書

●まちがにぎわう わいわいプロジェクト

基本方針	未来を見据えた拠点づくりや産業振興、基盤整備を通して、にぎわいと活力に溢れ、わいわい人が行き交うまちを目指します。
------	---

【1. にぎわい創出プロジェクト】

1 対象施策および施策目標 (P126)

施策名	4. 持続可能な農業の推進 (4601・4602・4603)
施策目標	・新規就農者の支援など持続可能な農業経営の確立を図ります。 ・ICTなど新技術を導入し、スマート農業を推進します。 ・農畜水産物の「小美玉ブランド化」及び「6次産業化」を推進します。 ・都市と農村の交流を図るため、農業体験ができるシステムを構築します。
所管部課名	産業経済部（農政課）

2 総合計画施策体系および成果指標 (P98・P99)

総合計画 施策体系	基本目標	04仕事と暮らしを創造する環境づくり
	基本施策	06農業の振興

指 標 名	実績値(R3)	実績値(R6)	将来値(R9)
遊休農地面積	49.3ha	61ha	25.0ha
農業産出額	252億円(令和2年)	260億円	252億円
新規就農者数	1人/年度	1人/年度	5人/年度
小美玉ブランド認証品数	-	8件/年度	3件/年度

3 個別施策 (P98・P99)

4601 担い手の確保と育成	持続可能な農業経営の確立のため、就農して間もない新規就農者の農業経営支援を図ります。
	経営感覚に優れた農家の育成のため、本市の農業を支える認定農業者で構成する認定農業者協議会の活動を支援するとともに、JA、普及センターなど関係機関と連携し、経営改善などの営農指導の強化を図ります。
4602 農畜産物などの生産基盤の整備	生産性の向上や生産物の付加価値の向上、農作業の負担軽減を図るため、ICTなど新技術の導入を支援するとともに、スマート農業の普及促進を図ります。
4603 安全・安心な農畜水産物の振興	本市の農畜水産物の知名度の向上を図るため、新たな付加価値を加えた「小美玉ブランド化」を進めるほか、新規取引先の獲得に向けた支援を行うとともに、生産から加工、流通販売を一本化した「6次産業化」を推進します。
	都市と農村の交流を図るため、収穫体験・農作業体験が可能な機会を提供し、魅力ある農業体験ができるシステムの構築を図ります。

4 施策達成のための主要な事務事業(令和6年度)

【指標値】

事務事業名	指標名	単位		R6	R7	R8	R9
農業次世代人材投資資金事業	新規就農者のうち農業次世代人材投資資金及び経営開始資金の交付を受ける者	人	計画	11	9	10	10
			実績	10	-	-	-
	農業次世代人材投資資金及び経営開始資金の交付を受けた者の所得額	千円	計画	10,000	11,000	9,000	10,000
			実績	19489	-	-	-
新規就農者営農定着支援事業	助成金を活用する新規就農者	人	計画	5	5	5	5
			実績	3	-	-	-
	助成金の交付を受けた者の所得額	千円	計画	3,000	3,000	3,000	3,000
			実績	3,848	-	-	-
先端技術導入支援事業	事業に取り組む農業者等への周知	件	計画	1	1	1	1
			実績	1	-	-	-
	事業に取り組んだ農業者等の件数	件	計画	3	3	3	3
			実績	2	-	-	-
新規販売先獲得支援事業	新規販売先獲得事業実施者数	経営体	計画	3	5	5	5
			実績	2	-	-	-
	効果があったと報告した事業者数	経営体	計画	3	5	5	5
			実績	2	-	-	-
6次産業化推進支援事業	6次産業化を目指す事業者	経営体	計画	0	1	2	2
			実績	0	-	-	-

【評価】

(4点満点の数値)

事務事業名	評価項目及び説明	妥当性		有効性		効率性
		①	②	③	④	⑤
		事業の必要性	市が実施する妥当性	計画達成への貢献度	活動量に見合う成果	コストの低減度
農業次世代人材投資資金事業		4	4	4	4	1
新規就農者営農定着支援事業		4	4	4	4	2
先端技術導入支援事業		4	4	4	4	2
新規販売先獲得支援事業		4	4	4	4	2
6次産業化推進支援事業		4	4	4	4	2

参考

【妥当性】① 4: 高い、3: やや高い、2: やや低い、1: 低い ② 4: 妥当、3: 概ね妥当、2: やや妥当、1: 妥当でない
【有効性】③ 4: 高い、3: やや高い、2: やや低い、1: 低い ④ 4: ある、3: ほぼある、2: ややある、1: ない
【効率性】⑤ 4: 大きくできる、3: ややできる、2: あまりできない、1: 全くできない

5 施策の課題認識と解決の方策

施策の課題	解決の方策
補助メニューが多岐にわたり、五月雨に募集があり、さらには募集期間が短い場合もあり、農業者への情報提供が不足している。	募集中の補助メニューは、市HPにおいて、わかりやすい箇所に配置するなど改善するとともに、希望者にはメールなどを活用し、リアルタイムで情報提供できるようにする。

6 施策所管部長による評価

評価	評価の理由
A：取組を維持し、施策成果を維持	就農開始して日が浅い生産者にとって、年150万円の受給や各種補助メニューの活用は、メリットが大きいと感じるため、周知を強化することで施策効果を向上させたい。
B：取組を強化し、施策成果を向上	
C：取組を見直し、施策成果を向上	
D：施策を見直す	

7 専門委員会の意見及び評価

評価	意見の内容
B	・外国人の雇用において、本市で居住・労働してよかったと思える支援体制を構築してもらいたい。 ・外国人労働者からは、本市にまた戻ってきたいとの声を徐々に聴けるようになった。 ・農産物の価値を高めるブランド化の取り組みは評価できる。

8 総合計画審議会の意見

評価	意見の内容
A：取組を維持し、施策成果を維持すべき	
B：取組を強化し、施策成果を向上すべき	
C：取組を見直し、施策成果を向上すべき	
D：施策を見直すべき	